事務事業ID
1381

平成 23 年度　**事務事業マネジメントシート**　　平成 23 年 11 月 30 日作成

事務事業名	気仙地方水稲病害虫防除協議会参画事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目				
	施策名	20 産地化をめざした農林業の振興		☐ 単年度のみ		会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01 農業経営の安定化		☑ 単年度繰返（開始 平成21 年度～）		01	06	01	02	19
	根拠法令									
所属	部課名	農林水産部 農林課		☐ 期間限定複数年度【計画期間】 年度 ～ 年度						
	課長名									
	係 名	農政係	電話 0192-27-3111	※全体計画欄の総投入量を記入						
	担当者		内線 345							

事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

・水稲病害虫等の防除指導の徹底と、優良農産物の安全生産と環境保全に資することを目的に、気仙管内の農業関連団体が構成員となり、水稲病害虫防除情報の発行や各種情報の提供などを行う。
・主な事業は、①病害虫防除対策の基本方針の決定、②病害虫防除実施計画の策定、③無人ヘリコプターの防除への支援、地上防除等の実施、④農薬の安全使用の徹底、⑤防除組織の育成強化、⑥病害虫発生予察情報の収集及び伝達、⑦広域防除事業の推進である。
・市は、協議会に参画し、負担金を拠出している。
・事業費は、協議会への負担金のみ。

全体計画（※期間限定複数年度のみ）

総投入量（千円）			
事業費	財源内訳	国庫支出金	
		都道府県支出金	
		地方債	
		その他	
		一般財源	
	事業費計 (A)		0
人件費	正規職員従事人数		
	延べ業務時間		
	人件費計 (B)		0
トータルコスト(A)＋(B)			0

1 現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

前年度実績（前年度に行った主な活動）
気仙地方水稲病害虫防除協議会総会へ出席

今年度計画（今年度に計画している主な活動）
前年度と同様

② 対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等
気仙地方水稲病害虫防除協議会

③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）
負担金の納入等により協議会の運営が健全なものとなり、協議会事業が円滑に実施される。

④ 結果（基本事業の意図：上位の基本事業にどのように貢献するのか）
農産物が安定して高く売れる。

⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位
ア	協議会開催回数	回
イ		
ウ		

⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位
カ	協議会構成団体数	団体
キ		
ク		

⑦ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位
サ	病害虫防除事業の実施回数	回
シ		
ス		

(2) 総事業費・指標等の推移

			単位	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
投入量	事業費	財源内訳 国庫支出金	千 円						
		財源内訳 都道府県支出金	千 円						
		財源内訳 地方債	千 円						
		財源内訳 その他	千 円						
		財源内訳 一般財源	千 円					10	10
		事業費計 (A)	千 円	0	0	0	0	10	10
	人件費	正規職員従事人数	人					1	1
		延べ業務時間	時 間					2	2
		人件費計 (B)	千 円	0	0	0	0	8	8
	トータルコスト(A)＋(B)		千 円	**0**	**0**	**0**	**0**	**18**	**18**
⑤活動指標		ア	回					1	1
		イ							
		ウ							
⑥対象指標		カ	団体					10	10
		キ							
		ク							
⑦成果指標		サ	回					2	2
		シ							
		ス							

事務事業ID	1381	事務事業名	気仙地方水稲病害虫防除協議会参画事業

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

・気仙地域が一体となり水稲の病害虫防除に対して取り組んでいくということから、気仙管内の農業関連団体が構成員となっており、前年度より構成員となっている。

② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

・近年気仙管内において、いもち病やカメムシ被害等の水稲病害虫が発生している。それに対して水稲病害虫防除情報の配布や、防除機の無償貸し出しを行うなど、適切な対処が行われている。

③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？

・農家から、水稲病害虫に関する情報提供が求められており、病害虫への適正な農薬使用について更なる周知が求めれている。

2 評価の部（SEE）＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価

① 政策体系との整合性

この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？

☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映
☑ 結びついている ⇒【理由】

・水稲病害虫防除協議会の活動は、農業経営の安定化につながり、その結果農業の振興が図られる。

② 公共関与の妥当性

なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？

☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映
☑ 妥当である ⇒【理由】

・気仙地方水稲病害虫防除協議会は、気仙各市町村、農業委員会、JAおおふなと、NOSAI東南部が構成員となっており、関与は妥当である。

③ 対象・意図の妥当性

対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？

☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映
☑ 適切である ⇒【理由】

・気仙管内の水田農家に対し、病害虫の防除情報や農薬の安全使用の周知等を円滑に行うための事業であり、対象と意図は適切である。

有効性評価

④ 成果の向上余地

成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？

☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映
☑ 向上余地がない ⇒【理由】

・事業継続により、成果の維持が図られる。

⑤ 廃止・休止の成果への影響

事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？

☐ 影響無 ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映
☑ 影響有 ⇒【その内容】

・水稲病害虫防除情報の周知に支障をきたし、農業経営の安定化に影響がある。

⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性

目的を達成するには，この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？

☐ 他に手段がある（具体的な手段，事務事業）

☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映
☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】

・他に類似する事業が無い。

☑ 他に手段がない ⇒【理由】

効率性評価

⑦ 事業費の削減余地

成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）

☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映
☑ 削減余地がない ⇒【理由】

・事業費を削減することによって、病害虫等の防除指導や、農薬の安全使用の周知が行われにくくなる。

⑧ 人件費（延べ業務時間）の削減余地

やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）

☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映
☑ 削減余地がない ⇒【理由】

・負担金納入事務にかかる担当職員の人件費及び協議会事業へ参加する職員の人件費のみ。

公平性評価

⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地

事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？

☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映
☑ 公平・公正である ⇒【理由】

・当事業における受益者負担は発生しない。

（大船渡市）

事務事業ID	1381	事務事業名	気仙地方水稲病害虫防除協議会参画事業

3 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 （2枚目と整合を図ること）

① 目的妥当性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり
② 有効性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり
③ 効率性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり
④ 公平性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括（振り返り、反省点）

当市における水稲病害虫防除のために、加入が必要。

(3) 次年度の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 （ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可）

☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☑ 現状維持

事業のやり方改善 （ ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善 ）

（上記方向性に対する具体的な内容）

・継続して気仙地方水稲病害虫防除協議会の構成員となる。

(4) 改革・改善による期待成果

左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。

（廃止・休止の場合は記入不要）

成果＼コスト	削減	維持	増加
向上			
維持		●	×
低下		×	×

(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等

（職 名） ※原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農林課長	

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

①記述水準（1次評価の記述内容を読んだ段階で選択）

☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☑ 記述は十分なされている

②評価の客観性水準（2次評価を行った後に総合的に判断して選択）

☐ 客観性を欠いており評価が偏っている（事務事業の問題点、課題が認識されてない）
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☑ 客観的な評価となっている（事務事業の問題点、課題が認識されている）

(2) 2次評価者としての評価結果

① 目的妥当性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり
② 有効性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり
③ 効率性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり
④ 公平性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

適切な事務執行がなされている。

(4) 次年度の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 （ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可）

☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☑ 現状維持

事業のやり方改善 （ ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善 ）

（上記方向性に対する具体的な内容）

現状どおり継続して事業を実施する。

(5) 改革・改善による期待成果

左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。

（廃止・休止の場合は記入不要）

成果＼コスト	削減	維持	増加
向上			
維持		●	×
低下		×	×

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項

（大船渡市）